

～日中の友好と相互理解の深化に期待～

2017年は日中国交正常化を果たしてから45年を迎える。日中両首脳が出席する記念式典をはじめ、民間主導での記念イベントの開催が予定されている。様々なイベントを通して両国の人々が互いの文化の魅力を理解し合うことは、日中の友好関係を深める好機だ。日中文化交流のあるべき姿を伝える

メディアの役割にも期待が寄せられている。CCTV大富は、1998年の日本での放送開始以来、中国の経済や政治などのニュースをはじめ、カルチャー、語学、旅行など、バラエティに富んだ番組をとり揃えて、日本と中国の友好促進に尽力し続けている。

両国関係の新たな発展をめざして

中日双方が共同で発議し、創設した「東京-北京フォーラム」はすでに12年の歳月を歩んで参りました。今回のフォーラムに対して、謹んで心からの敬意を表します。

双方の共同の努力によって、フォーラムの影響力は拡大し続け、両国の政府、民衆、メディアから幅広い関心を集め、重視されるようになりました。これはフォーラムを主催してきた双方の精誠の賜であり、両国各界人士が積極的に参加し、皆が知恵を出し合った成果です。同時に、これはフォーラムが率直で誠意ある交流を展開し、相互理解を促進し、相互認識を深め、両国関係を改善する各面において、建設的な役割を果たしてきたことを十分に物語っています。

ここ2年来、中日関係はいくぶん改善されてきました。その進展はゆっくりとしたものです。このほど、G20杭州サミット期間中に安倍晋三首相と会談した際に、習近平国家主席は「両国関係は坂を登り苦境を乗り越えようとして、前へ進まなければ、後退しかない鍵の段階におかれています」と述べました。私は両国各界から参会された皆様より一層強い責任感と緊迫感を持ち、フォーラムという得難いプラットフォームの助けを借り、問題に向き合い、率直で誠意ある交流、突っ込んだ研究討論、勇敢な建言を行い、引き続き両国関係の改善と発展を促進するに正確で透徹した見解を貢献することを希望します。

両国間の政治関係などの影響を受け、中日間の経済・貿易関係はここ数年、試練に直面しており、主

に伝統的な協力モデルにおける後続の原動力が不足し、新型の協力分野で一応の成果が見えるものの歩みは遅く、日本の対中貿易投資が中国の対外経済協力全体に占める割合が低下しているという現象が表れています。いかに新たな情勢に応じて、両国関係の新たなニーズに適合し、経済相互補完の潜在力を深く掘り起こし、協力を促進し、質と効率の向上やレベルアップに努め、経済・貿易協力の両国関係におけるパラダイムの役割を良く発揮させるかは、同様に我々が大胆に新たな発想を打ち出し、新たな協力を力を入れて進め、新たなハイライトを創出することが求められています。

中日両国は共にアジアと世界に重要な影響を持つ国家であり、長期的な善隣友好関係の堅持・発展は、両国と両国人民の根源的利益に合致するもので、同時に地域協力を導き深化させ、地域の安全保障における課題を解消し、アジアの振興ひいては世界の平和と発展を促進する上で、重要な現実的意義を持っています。来年は中日国交正常化45周年であり、再来年は中日平和友好条約締結40周年です。これは両国関係のより一層の改善・発展を推進する重要な契機です。両国各界は両国関係の長期の大局に立脚し、中日間の四つの政治文書と四つの原則的共通認識の基礎の上に、信念を固め、共に向き進み、官民を挙げて、革新し進取に努め、両国関係が不断に新たな大きな発展を得られるよう推進することを願っております。



中国元國務委員
中日友好協会会長
唐家璇

世論によりプラスな影響を与えよう

第12回「東京-北京フォーラム」開催に際して、中国國務院新聞弁公室を代表し、謹んで衷心から敬意を申し上げます。

中日双方の共同の努力の下、フォーラムはすでに12年の年月を経て、両国間のハイレベルで、幅広い代表的なシンクタンク、メディア、企業間の交流プラットフォームに成長しました。中日双方の対話の強化、相互信頼の増進、両国の世論にプラスの影響を与えることを推し進めようという点において重要な役割を果たし、中日関係の改善と発展の促進に有益な貢献をしています。

このほど開催されたG20杭州サミットの習近平国

家主席と安倍晋三首相の会談において、中国の指導者が中日関係を一貫して重視していることを表し、中国側の中日関係の改善、発展に尽力するという基本的な立場に変化はないことを示し、中日関係の次の発展のための方向を明示しました。このような背景下で、我々がフォーラムを開催することは非常に重要な意義があります。中日双方が自信がため、共通認識を凝集し、心を合わせ協力して今回のフォーラムを成功させ、中日関係の改善と発展の為にさらに多くの英知と力を捧げることを望みます。第12回「東京-北京フォーラム」の成功を心より御祈念申し上げます。



中国國務院新聞弁公室主任
蔣建軍

英知を結集し両国関係の改善に貢献

中日関係は鍵の時期に差し掛かっており、来年は中日国交正常化45周年を迎えます。ここに、両国各界の有識者の皆様、今回のフォーラムで虚心坦懐に交流し、意思疎通を深め、英知を結集し、両国関係の安定、改善、発展を推進するために積極的に貢献して頂きたいと希望しています。「東京-北京フォーラム」は2005年に創設されて以来、毎回、両国の政界、経済界、マスコミ界、学术界等各界の

有識者が集結し、両国人民の相互理解の増進、両国関係の改善、発展のために積極的に貢献され、両国各界の交流、対話の重要なプラットフォームとなって参りました。第12回「東京-北京フォーラム」の東京開催に際して、フォーラムが年々、成長し、大きくなっていること心から大きな喜びを感じております。フォーラムのご成功を祈念しております。



中華人民共和國
駐日本國特命全權大使
程永華

有識者たちの役割を一層発揮させよう

中日関係の改善と、経済、文化、人的交流など多方面での協力の拡大は、双方の戦略的利益にかんするものです。しかし、日本の南海問題への関与など、様々な要因が次々と出現し、中日関係は一層困難な状況に置かれています。

複雑な局面の時、抱え固い有効な交流がより必要となります。私は、「東京-北京フォーラム」を大変大切にしています。「東京-北京フォーラム」は中日間の数少ない重要な公共外交プラットフォームの一つです。フォーラムは既に11回も開催され、当初予想した

成果はまだ実現できていないとは言えませんが、我々は相変わらず堅持していかなければなりません。なぜならフォーラムには、中日友好ひいては北東アジアの平和とを自らへの責任として、中日の有識者が既に多岐にわたって集結しているからです。我々は、彼らが積極的な役割を

発揮させるよう努力し続けなくてはなりません。毎回の「中日関係世論調査」では、双方大衆の共通した認識として、中日関係が非常に重要であるということを示しています。これが正に我々の信念の拠り所となっているのです。



中国人民大学新聞學院長
國務院新聞弁公室主任
趙啓正

鍵となる時期のフォーラムに期待

現在の中日関係は改善の兆しにあるとはいえ、情勢は依然、厳しいものがあります。この情勢下で、習近平主席と安倍晋三首相がG20杭州サミットでの会談を行ったことは、当面の両国関係の情勢の見極めと、今後の発展に、的確な位置づけと真新しい契機を与えました。これを受けて開催される第12回「東京-北京フォーラム」は、両国指導者による会談の精神に基づき、フォーラムのメーンテーマをしっかりと捉え、中日間の政治・外交、経済・貿易協力、安全保障、メディアの責任と地方交流等の分野で、両国の相互信頼の増進、ウイン・ウインの関係の促進、危機管理の強化、国民感

情の向上のため知恵を出し合わなくてはなりません。私は、中日双方の有識者がフォーラムにおいて心を一つにして協力し、中日両国の「古い問題」を上手く管理するため新しい考え方を提供し、「新しい問題」の防止のため新しい戦略を立て、「隠された」を減らすため新しい方法を打ち出し、中日関係が坂を登り苦境を乗り越える「鍵となる時期」を順調に乗り越えるように、手を携えて新しい原動力を提供できるような希望しています。第12回「東京-北京フォーラム」の円満な成功を期待しています。



中国国際出版集團總裁
周明偉

問題解決の方法と手順を共に模索

近年、中日間の経済・貿易は毎年下降していく局面に陥り、これは両国の経済・貿易に携わる者にとって、受け止めたい現象といえます。原因としては、世界経済情勢が芳しくなく、かつ回復が遅れており、投資が減少し、市場需要が不足していることが考えられますが、その他の主な原因として、現在の中日両国関係の後退、相互信頼の希薄化が関係し

ていると思われます。今回の「東京-北京フォーラム」は、交流とコミュニケーションの強化、相互理解の促進、問題解決の方法と手順の共同模索をその趣旨としています。私は、今回のフォーラムにおいて、討論と交流を通して、当面の問題解決の方法を見つ出し、中日の経済・貿易の発展に貢献できるものと信じております。



中国国際経済交流中心副理事長
商務部元副部長
魏建軍

第12回 東京-北京フォーラム開催

日時:9月27日(火)・28日(水) 会場:ホテルオークラ東京、虎ノ門ヒルズフォーラム

「東京-北京フォーラム」は2005年に設立され、過去10年に渡り開催されてきた民間対話の舞台です。今年は「アジアや世界の平和と発展に向けた日中協力」をメインテーマに、両国間の課題、アジアや世界の課題解決に向けて議論します。

日本唯一の中国テレビ総合チャンネル-CCTV大富

スカパー!・ひかりTV・J:COMでCCTV大富 日中二カ国語 絶賛放送中! >>> 更に10月1日スカパー!オンデマンドアプリで配信スタート!

第12回東京-北京フォーラムに関する情報は
会期中、CCTV大富チャンネル21時48分から放送!
(日本語同時通訳あり)
放送日時:9月27日(火)28日(水)

CCTV大富チャンネルとは...

1998年2月「日本と中国の架け橋になる」との理念の下、株式会社大富が設立。同年7月より中国国家テレビ局「中国中央電視台CCTV」の番組をスカパー!で放送開始。言葉のハードルをなくすべく、2012年1月「日中二カ国語放送(同時通訳・日本語字幕)」が実現。同年10月にはひかりTV、2015年11月からはJ:COMでも配信開始。今秋10月待望のスカパー!オンデマンド配信もスタート。

中国の「今」をタイムリーに24時間日中二カ国語でお届けする、日本唯一の中国語総合チャンネル。CCTV大富は、中国の経済・時事・政治・金融ニュースはもちろん、歴史、文化、生活、ドキュメンタリー、ドラマ、語学、料理、バラエティ番組まで網羅した総合チャンネル。

音楽鑑賞	時代劇	走遍中国	芸能	スポーツ	天天飲食
快樂英語	文明の旅	中華医療	料理	中国新聞	
ニュース	経済自白書	文化	ドラマ		

張麗玲
株式会社大富
代表取締役社長

株式会社大富が日本と中国の架け橋になる
との理念の下、中国中央電視台の番組を放送
させて頂いてから18年。さらに2012年からは
日中二カ国語放送(同通・字幕)も実現しまし
た。日本と中国は隣国とはいえず、互いに知らない
ことも多々あると感じています。放送を通じて
一人でも多くの日本の方々にありのままの
中国を知って頂けるよう尽力して参りました。
今年12回目を迎える東京-北京フォーラムは、
相互理解促進のための素晴らしい活動であり、
民間対話と交流に重要な役割を果たしていま
す。弊社CCTV大富チャンネルでもフォーラムの
様子を紹介させて頂きますので、この活動をより
多くの方に知って頂き、互いの友好をより一
層深めるきっかけになれば幸いです。

視聴方法

スカパー! カスタマーセンター
受付時間:10:00~20:00(年中無休)
Tel:0120-555-468

スカパー!プレミアムサービス
受付時間:10:00~19:00(年中無休)
Tel:0120-556-365(新規ご加入窓口)

スカパー!プレミアムサービス光
受付時間:10:00~18:00(年中無休)
Tel:0120-816-666

ひかりTV
受付時間:10:00~19:00(年中無休)
Tel:0120-34-1010

J:COM ch.301
受付時間:10:00~19:00(年中無休)
Tel:0120-999-000

ひかりTV
受付時間:9:00~21:00(年中無休)
Tel:0120-914-000

LINE@

株式会社大富 〒104-0061 東京都中央区銀座1-13-15 銀座菊地ビル8階 Tel:03-3547-3727 Fax:03-3541-3730 http://www.cctvdf.com